

# The 22th Slide Seminar, The Japanese Society of Pathology, Chubu Division

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-07-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Harada, Kenichi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00054900">http://hdl.handle.net/2297/00054900</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 『学会開催報告』

第22回日本病理学会  
中部支部スライドセミナーThe 22th Slide Seminar, The Japanese Society  
of Pathology, Chubu Division金沢大学医薬保健研究域医学系 人体病理学  
原 田 憲 一

平成31年3月9日に第22回日本病理学会中部支部スライドセミナーを金沢大学附属病院宝ホールにて、お世話させていただきました。今回のテーマは、「肝炎・胆管炎 - Pathological update -」と題し、炎症性肝疾患について様々な観点から講演と症例検討会を行いました。

このスライドセミナーは、日本病理学会中部支部に所属する病理医を対象に、技術向上のため各施設から症例を持ち寄り検討し、病理診断学の教育および最新の知見を紹介しながら、中部地区の会員相互の意見交流を主旨とし、より良い診断と治療の向上のために開催するものです。また、中部地区外の専門家による特別講演を行っており、病理診断および研究のさらなる発展に貢献するものと確信いたしております。

今回は、問題症例や診断困難な症例について4演題ご発表頂きました。教育的または示唆に富む症例の呈示がなされ、活発な意見の交換がなされました。

さらに、特別講演1として香川県立中央病院肝臓内科筒井朱美先生には「臨床医にとっての肝臓病理 - 薬物

性肝障害と自己免疫性肝炎の鑑別を中心に-」という演題名で、臨床医の立場・視点から急性肝障害を来す肝疾患診断の重要性についてご講演いただきました。特別講演2として徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学分野常山幸一先生には「慢性肝疾患病理診断のpitfall」という演題名で、日常診断における鑑別の難しい症例についてご講演いただきました。特別講演3として社会医療法人愛仁会高槻病院 病理診断科 伊倉義弘先生には「変容する脂肪性肝疾患の意義・診断」の演題名でご講演いただき、現代病ともいえるメタボ関連の肝疾患について解説を頂きました。拝聴者からは臨床医からも相談されるテーマについて明快に答えていただき大変有意義な講演と好評でした。

また、昨年台風の影響で延期されていた希少がん病理診断講習会を同時開催し、国立がん研究センター中央病院病理科・希少がんセンター 吉田朗彦先生に「軟部腫瘍 - 良性か悪性か -」をご講演いただきました。希少な軟部腫瘍についての貴重な症例について診断についての注意点を伺うことができ、今後の病理診断に役立つものと考えております。

学術集会当日は、育児中の方も参加できるように託児所を開設し3名をお預かりし、大変好評を得ました。中部地区より多数の病理医の方々に御来場頂き大変有難うございました。また、本スライドセミナーにご支援頂きました金沢大学十全医学会をはじめ各企業の方々に深く御礼を申し上げます。

